

発言No. 4

受付No. 8

令和 4 年 6 月 7 日  
8 時 44 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者  
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 水産業の振興について

#### (1) 漁港周辺エリアの活性化について

- ① 昨年度よりオープンした山陰浜田港公設市場は「漁港、市場機能の強化」を図ること賑わい創出と観光及び地域活性化を図ることを目的とした施設であるが、大型連休に多くの仲買店舗が休業しており、鮮魚を求めて訪れた方々には残念な結果となり大型連休の観光施設の在り方として今後の課題ではないかと思うが、市としての考えを伺う。

#### (2) 地元漁船の存続について

- ① 令和2年度時点で存続している沖合底引き、まき網、定置網漁船の全船存続に向けて水産業競争力強化漁船導入事業を主な取組内容として行い、全船団の存続を目標としているが、現状は厳しく、中でも定置網漁船の存続は容易ではないと考えているが、市として存続についてどのような考えなのか伺う。

#### (3) 担い手確保事業について

- ① 令和7年度までの18名の漁業研修者を受入れる目標となっている。  
現在、受け入れている研修者の人数と受け入れ先はどのようになっているか伺う。

② 県と連携した漁業研修生の受入れ体制の充実化や漁業技術習得の支援とは具体的にどのようなものか伺う。

(4) 水産多面的機能発揮対策事業について

① 今後、行っていく事業として国が予算措置を行う水産多面的機能発揮対策事業に取り組むようだが、この事業の示す地域協議会とはどの団体なのか伺う。

② 市における活動団体とはどの団体なのか伺う。

③ この制度を活用した取組について伺う。

(5) ブルーカーボンについて

① 全国的に昆布やアマモなどを育成する藻場に恵まれていることから、海藻などによってCO<sub>2</sub>を吸収し、分解するブルーカーボンと言う制度を取り入れる自治体もある。浜田市の広い市域は海に面しており藻場が形成されていることや今後、磯焼け対策に取り組むことを計画していることなどに加え、ブルークレジットを漁業者の所得につなげることにより、沿岸漁業者の所得向上にもつながる可能性を持つ、この制度を検討してみてはどうかと思うが、市としての考えを伺う。